

事業所名

はばたき

支援プログラム

作成日

R7

年

2

月

26

日

法人（事業所）理念	学校や自宅で出来ない体験をしてもらい、プログラムを通して興味や意欲を持てる活動を提供していく。		
支援方針	個々に寄り添いながら、本人の「出来た」がひとつでも増えるように支援していきます。		
営業時間	9 時	30 分から	18 時 30 分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	来所時に体温測定、気分や調子を確認する事で、今日の心身の状況を把握する。また、毎回荷物の整理（上着の着脱。荷物を自分のロッカーに入れる。）を行ってもらっている。集団活動で過ごす中で時間に見通しをもてるよう、文字やタイマーで支援をする。 （クッキング）楽しく食べ、食への興味を深めていく。調理器具を使用して、手先、指先の運動機能等を高めていく。	
	運動・感覚	運動プログラムの曜日を設け、ストレッチ、ラジオ体操、ボール遊び、トランポリンなど行い、からだを動かすプログラムを提供していく。 （クッキング）作り方や手順をボードで見える化する事で視覚、言葉で説明する事で聴覚、食材に触れることで触覚、食べる事で嗅覚などの感覚を刺激していく。 （創作・活力）指先を使った遊びを行ったり、ハサミ等を使って創作活動を取り入れている。	
	認知・行動	日直を当番制で体験してもらうことで、時間や日付の確認をして、感覚・数の認知形成を促していく。 （かず）プリント学習やタブレット学習でお金や数字の理解を深めている。 （クッキング）調理する事で物の色や形が変化する様子を知っていく。又、季節に合った食材やメニューを取り入れる事で、季節の変化への興味など、感性形成を促す。	
	言語 コミュニケーション	当日の日直当番を体験する事で、活動を振り返り、楽しかったを発表する事で、言語表出を促す。 余暇活動においても会話によるコミュニケーションを取ったり、可能な児童とは定期的に面談の形で会話や相談できる機会を設けている。	
	人間関係 社会性	余暇活動では、ルールが必要な集団遊びや役割分担のある共同遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、社会性の発達の支援や、対人関係の芽生えを支援していく。 集団行動を行う中で、公共施設へ出かけたりエチケットやマナー・ルールを身をもって経験・体験してもらう。 （かず）実際の店舗へ買い物に出かけ、自分でお金を支払う体験をしている。	
家族支援	家族支援加算を活用し、児童を取り巻く環境への不安を解決できるようサポートしていきます。 日常の相談以外にも、きょうだいの支援や学校卒業後の進路相談もサポートしていきます。	移行支援	進学や就学時に移行先の学校や事業所と連携を取り合い、支援内容の共有を行います。 同年代の子ども同士の関わりの中で友達作りのサポートを行います。 各学校との連携を取りながら、支援についての共有をはかる。
地域支援・地域連携	学校や併用している事業所、相談支援事業所との支援方法についての情報共有等連携を取り合います。 各関係機関との会議に参加したり連携しながら、包括的に支援を行います。 桑園圏域障害児通所支援事業所連絡会に参加し、情報収集や情報共有を行います。	職員の質の向上	月に1回スタッフ全員で会議を行っています。 スキルアップとして研修に参加したり、各々自己研鑽に努めています。
主な行事等	月に1回、行事の日を設けています。クリスマスやハロウィン、夏祭りなどの季節行事以外にもおでかけの行事も行っています。夏休みにはプールも行っています。		